

前回審議会（R6.3）における審議会意見について

連番	旧頁	現頁	意見内容
			対応内容
1	P28	P25	地球環境の分野では、緩和だけではなく適応も必要であるが、主に緩和に関することが書かれている。
			（2）に気候の現状として降水量や積雪量などの現状を加え、気候変動の現状が分かるように整理しました。
2	P70	P58	「環境学習・環境活動」に対する満足度について、前回の意識調査の結果から大きな変化はないと記載されているが、この分野は前回との変化がないことではなく他の分野と比較して満足度が著しく低いことが問題であると考えられる。
			他の分野と比較して満足度が低いことを記載するとともに、市民の環境学習・環境活動に対する関心を高めていく必要がある内容に修正しました。
3	P72	P61	図の数値が1をオーバーしている。
			図を修正しました。
4	P72 P74	P61 P63	図の●の色分けが、人によって見にくい可能性があるのではないか。
			図中に番号を振り、図の下表においてどの分野に相当するか分かるように整理しました。
5	P80	P68	望ましい環境像は中長期的にとらえる目指すべきビジョンであるが、「みんなで学ぶ」の内容が学ぶレベルに留まっているため、学んで実践することも盛り込んだ方がよい。
			市民・事業者・市が連携・協働して学ぶことにより、一人一人が主体的に行動することを表している旨、説明文を修正しました。
6	P80	P68	「未来につなぐ」と「地球にやさしい」の内容、「歴史と文化」と「美しいまち」の内容が重複しているように考えられる。
			「未来につなぐ」は「地球にやさしい」を次世代に引き継ぐことも含めており、「美しいまち」は「歴史と文化」も含めた内容であるため重複している内容もありますが、それぞれのキーワードが示す主旨は異なるため、このままとしました。
7	P80	P68	基本目標5の内容が、望ましい環境像のどの部分に当たるのかが分かりにくいいため、「美しいまち」を「美しく安心して暮らせるまち」などとするのはどうか。
			「美しいまち」は景観や優れた自然、水・空気がきれいなまち、緑化など、広い意味を持つためこのままとしましたが、基本目標5の内容も含まれることが分かるよう説明文を修正しました。
8	P81	P69	「歴史的・文化的な遺産の保全」については、歴史的遺産を活用することもアンケート結果にあったことから、保全だけではなく「保全と活用」とした方がよい。
			「歴史的・文化的な遺産の保全・活用」に修正しました。
9	P81	P69	「大気、騒音、振動、水質、悪臭の保全対策」とあり、大気と水質は保全するものであるが、騒音、振動、悪臭は保全するものではないと考えられる。
			「大気・水質の保全と騒音・振動・悪臭の対策」と修正しました。

連番	旧頁	現頁	意見内容
			対応内容
10	P82	P70	P3の図では、本計画のベースが環境基本法と気候変動適応法と読み取れ、施策体系ではテーマ1に「適応するまち」とあるため、適応の計画の柱を厚くしたり分かりやすい柱があるとよいと考えられる。
			施策体系を整理し、施策の柱に「気候変動適応策の推進」を入れることで、適応策が施策の柱となるよう整理しました。